

2016年1月映画興行部門興行成績速報

1月の東宝グループ会社の興行成績は次のとおりです(消費税等を含みます)。

東宝グループ館総合計

664スクリーン **興行収入** **5,410,628,990 円** (前年比 120.8%)

1月主要稼働作品

『信長協奏曲(ノブナガコンツェルト)』『スター・ウォーズ/フォースの覚醒』『映画 妖怪ウォッチ エンマ大王と5つの物語だニャン!』『シーズズ 2万年の地球旅行』『ブリッジ・オブ・スパイ』『人生の約束』『パディントン』『クリムゾン・ピーク』『ピンクとグレー』『傷物語< I 鉄血篇>』『道頓堀よ、泣かせてくれ! DOCUMENTARY of NMB 48』『尾崎支配人が泣いた夜 DOCUMENTARY of HKT48』『ザ・ウォーク』『残穢【ざんえ】—住んではいけない部屋—』『ブラック・スキャンダル』『さらば あぶない刑事』『手裏剣戦隊ニンニンジャーVS トッキュウジャー THE MOVIE 忍者・イン・ワンダーランド』『orange-オレンジ-』『映画ちびまるこちゃん イタリアから来た少年』『母と暮らせば』『007 スペクター』他

※ここでの東宝グループとは、TOHOシネマズ(株)、関西共栄興行(株)、(株)東京楽天地、オーエス(株)、スバル興業(株)以上5社が経営する映画館をいいます。

★TOHOシネマズ(株)、関西共栄興行(株)、スバル興業(株)は、東宝(株)連結子会社
(株)東京楽天地、オーエス(株)は、東宝(株)持分法適用関連会社

※共同経営館(44スクリーン)のTOHOシネマズ分を含みます。

※「興行収入」とは映画館の入場料収入を指します。売店収入などは含まれておりません。

以 上